

	種別	意見	協議会における担当課の回答	課題解決に向けた方向性や取組内容	令和５年11月末時点での進捗	令和６年３月末時点での進捗
1	就労支援 【令和５年度第１回協議会】	【森委員】 就労支援センターの目標設定が見えにくい。	令和５年度中に、令和６年度の目標設定について、就職件数を目標とするのか、定着率を目標とするのか等、和泉市としてどう考えるかを示す。	目標設定については就職件数なのか定着率なのか、令和５年度中に整理していく。	現在、目標案検討中。	調整中
2	障がい児から障がい者への移行 【令和５年度第１回協議会】	【繁治委員】 障がい児・者連携にあたって、スムーズな移行に関する協議を進めてほしい。 【野口委員】 在学中は学校が中心となり手厚い支援体制があるが、支援者と繋がらない、繋がっていない方は卒業後はどこが中心となるかが不明確である。	幅広く意見交換できる場を設定する方向で、プロジェクトチーム等、協議の場について、関係機関で検討する。	障がい児・障がい者における関係者による意見交換の場を設け、今後の展開について整理する。	令和5年11月13日に意見交換会を行い、①連携するツールはあるものの、上手く活用されていないことや情報の受け渡しがされていないこと②社会経験の機会の少なさ、といった課題があることを整理した。（資料３参照）	令和6年1月16日に意見交換会を行い、（資料３参照） 令和6年3月25日に意見交換会開催（口頭にて詳細説明）
3	工賃向上 【令和５年度第１回協議会】	【階元委員】 工賃向上として就労支援部会においてカタログを作成しているが、企業だけでなく、地域にも発信してほしい。 【山本委員】 同上	カタログの周知について就労支援部会にて検討する。	就労支援部会において、社会福祉協議会や民生委員など、カタログを活用してもらえる相手方を整理し、商工会議所だけでなく他の機関や団体にも発信を進めていく。	チラシを作成して発信する等、方法について検討中。	前回協議会以降、チラシ作成の検討を行った。詳細については資料２ 就労支援部会の報告参照。今後、部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。
4	包括ケアシステムの構築（精神） 【令和５年度第１回協議会】	【階元委員】 地域移行部会で居場所づくりを進めているが、ぜひ地域の資源と連携して取り組んでほしい。	社会福祉協議会の地域福祉部門からのご意見いただきたい。	社会福祉協議会（地域福祉部門）からも助言をもらい、地域資源との連動を図りながら、地域移行部会において居場所づくりを進める。	・居場所の開所（9/13、10/11、11/8） ・利用実績、ニーズ把握に努める。	居場所開所を継続しており、次年度の評価に向けて利用実績やニーズ収集に取り組んでいる。評価後の取組みに向けて、ご提案いただいた資源については、活用する資源候補とし、また、それ以外にも地域における活用可能な資源発掘に取り組んでいく。今後、部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。
5	包括ケアシステムの構築（精神） 【令和５年度第１回協議会】	【明石委員】 地域移行部会の退院促進について、ピアサポーターの役割を、退院促進のみではなく、障がい特性に関わらず、当事者として活躍できるものにすればよいのではないかな。		地域移行部会において取り上げていく。	部会において協議予定。	検討中
6	障がい児への災害時支援 【令和５年度第１回協議会】	【宮田氏】 子ども部会において、災害対策を進めるとあるが、ロードマップ（避難経路）の作成も進めてほしい。		子ども部会において検討する。	個別支援計画に基づき避難経路のモデルケースを作成し、課題について検討する予定。	モデルケースを用いたケース検討を行った。詳細については資料２ 子ども部会の報告参照。今後、部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。

	種別	意見	協議会における担当課の回答	課題解決に向けた方向性や取組内容	令和5年11月末時点での進捗	令和6年3月末時点での進捗
7	居場所づくり 【令和5年度第2回協議会】	【佐々木委員】 現在開催している居場所においては、利用者同士の交流は少なく、利用者以外は支援者やスタッフだけということがある。実際に利用者数は、9月は2名、10月は1名、11月は1名と少ない。 その現状を踏まえて、次回や次々回に向けて利用者を増やす取り組み案があるのかを教えてほしい。	周知が十分でなかったために参加人数が少なかったと思われるので、今後、地域移行部会において、地域のクリニック、訪問看護ステーション、相談支援事業所等、周知範囲を徐々に広げていくことで、利用者増を図る。また、一方で、精神障がいに関心を持った支援者と話しをする機会のニーズもあることから、様々なニーズに合わせた居場所の在り方を検討していく予定です。	前回協議会以降、周知範囲を広げた。その結果詳細については資料2 地域移行部会の報告参照。ニーズ把握についても、部会において取り組む予定。今後、部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。		
8	もしもキャンペーン 【令和5年度第2回協議会】	【大谷会長】 アセスメントシートを回収・分析した後、結果報告をしてほしい。	次回協議会にて、分析結果を報告する。	現時点での集計結果をもとに分析を行った。詳細については資料2 地域生活拠点部会の報告参照。次年度、最終の集計結果が出しだい、改めて協議会にて報告を行う予定。今後、分析については部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。		
9	もしもキャンペーン 【令和5年度第2回協議会】	【明石委員】 今回で終了ではなく、家族や支援者が緊急時の備えの意識を持てるような意識づけを今後も続けてほしい。	今回の結果も勘案し、地域生活支援拠点部会において、取組みを続ける。	地域生活支援拠点部会において、継続した意識付けのための啓発の取組み検討を始めている。今後、部会の取組みとして進め、報告を行うものとする。		